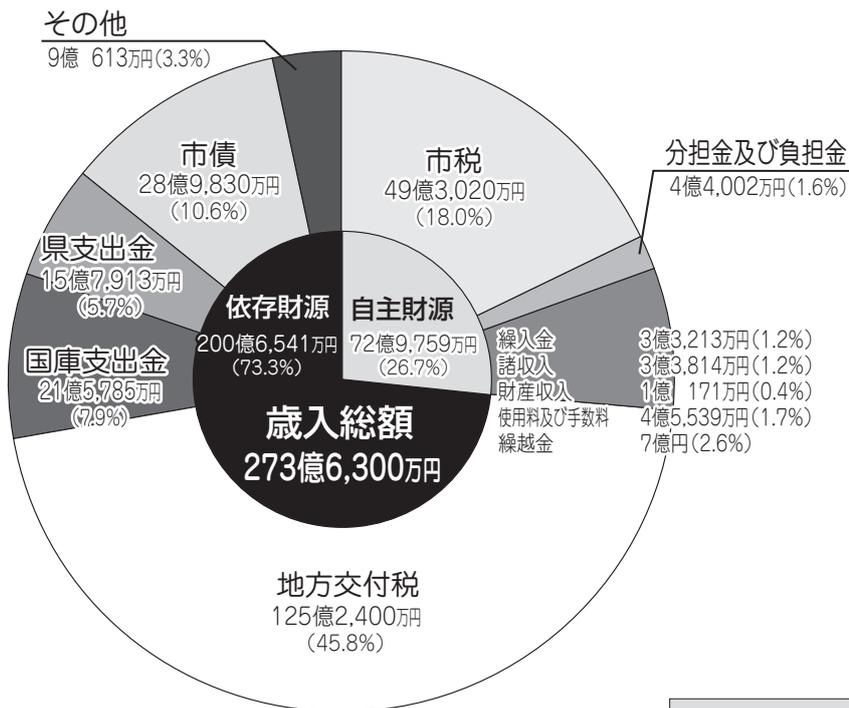
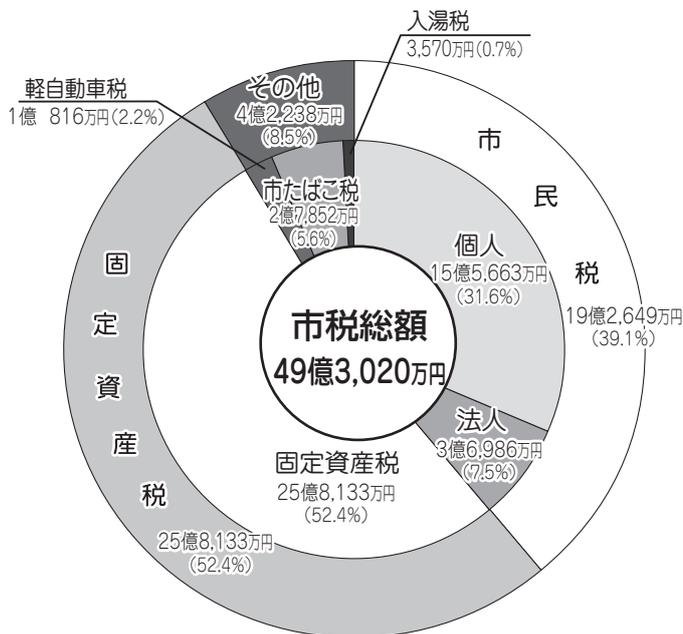


# 平成26年度 当初予算

## 歳入の内訳



## 市税の内訳



総額	482億7,439万円
一般会計	273億6,300万円
特別会計	153億733万円
企業会計	56億406万円

次の七つを柱とした予算編成

- 産業・雇用(地域資源や高速交通網の優位性を活かして産業を育てるまち)
- 環境・防災・社会基盤(美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち)
- 健康・福祉(支えあい助け合う安心のまち)
- 教育・文化・人づくり(香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち)
- 自治・まちづくり(市民と行政の協働により自律するまち)
- 地域振興(個性あふれる地域づくりを推進するまち)
- 行財政改革(身の丈に合った行財政体制の確立)

郡上市の平成26年度予算の総額は、約483億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスを行う一般会計が約274億円となっています。平成25年度の当初予算に比べて、一般会計で1.6%の減となっています。

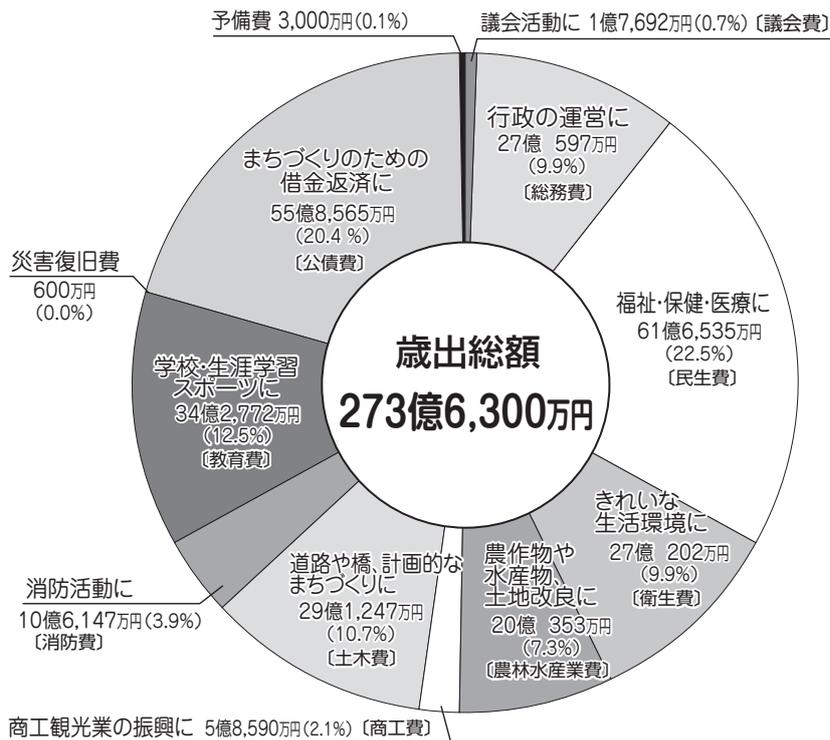
一般会計の歳入のうち、市税は49億3,020万円(前年度比0.1%減)、国庫支出金は、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金の減などにより21億5,785万円(同6.2%減)、地方交付税は基準財政収入額の減などにより125億2,400万円(同0.2%増)を見込んでいます。市債は、中学校の校舎等整備事業をはじめとした投資的事業の減により、28億9,830万円(同18.6%減)となっています。

また、今年度は財源不足を補うための財政調整基金からの繰り入れは計上していませんが、将来への公債負担軽減のための市債繰上償還の財源とするため、減債基金から3億3,666万円を繰り入れを計上しています。市税収入などの自主財源は、72億9,759万円です。全体の26.7%しかなく、地方交付税や国庫支出金などの依存財源の占め

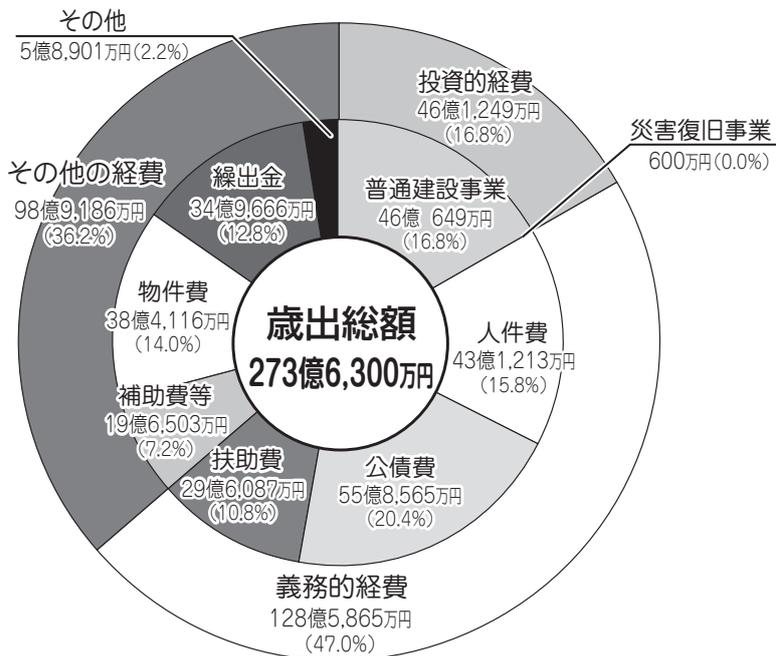
～用語解説～

- 市税…市民のみなさんから納めていただく市民税や固定資産税など
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などから取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金
- 分担金および負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
- 使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅などの使用料など
- 市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）
- 地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金
- 国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などの財源として交付されるお金
- 人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など
- 公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金
- 扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用
- 普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用
- 物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需要費、備品の購入に充てられる費用
- 繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

# 一般会計の主な使いみち



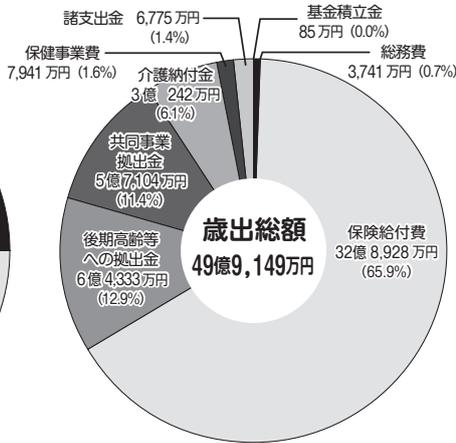
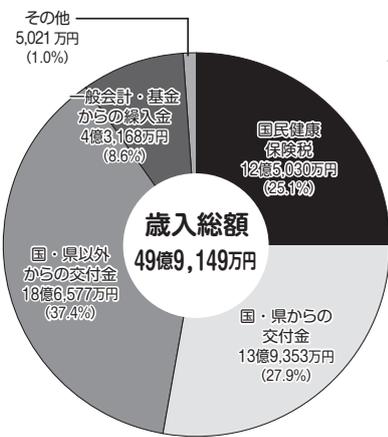
# 性質別の使いみち



る割合が大きなものとなっています。歳出については、少子化対策や高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が61億6,535万円（同3.3%増）、道路整備など市民生活に密接する土木費が29億1,247万円（同11.8%減）、学校建設や学校教育、社会教育に使われる教育費が34億2,772万円（同3.9%減）であり、大きな割合を占めています。また、まちづくりの借金返済にあたる公債費は繰上償還3億360万円を含めて55億8,565万円（同1.4%増）となり、歳出全体の20.4%となっています。性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同0.2%減）は47.0%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同7.9%減）は、16.8%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同5.4%減）の割合も12.8%と大きくなっています。今後大変厳しい状況が続くと思われ、引き続き職員定数の適正化と公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化を最重要課題として、行政改革に取り組んで行く必要があります。

### 国民健康保険事業

国民健康保険に加入している人が、病気やけがで診療を受けたとき、その医療費（本人負担分を除いた費用＝保険給付費）を負担しています。



被保険者一人当たりには換算すると、歳入の国民健康保険税は100,345円になります。また、保険税の負担軽減を図るための繰入金は、一般会計・基金からそれぞれ6,019円（総額各7,500万円）、低所得世帯等の保険税軽減分は11,236円（総額1億4,000万円）になります。

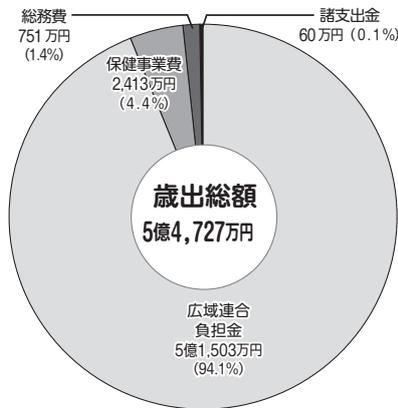
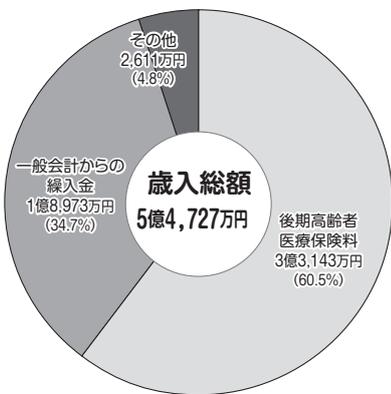
歳出の保険給付費は263,987円、後期高齢者医療制度等への拠出金は51,632円、介護保険への納付金は24,271円になります。

生活習慣病を予防し、重症化を防いで健康的な生活をしていただくため、40歳以上の人を対象に特定健康診査を実施しています。

年1回は健診を受けましょう。

### 後期高齢者医療事業

75歳以上の人（一定の障がいがある人は65歳以上）は、後期高齢者医療制度に加入します。運営は岐阜県後期高齢者医療広域連合が行い、市は保険料の徴収、各種申請などの業務を行っています。



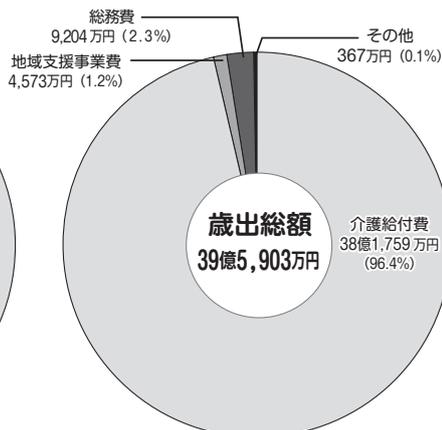
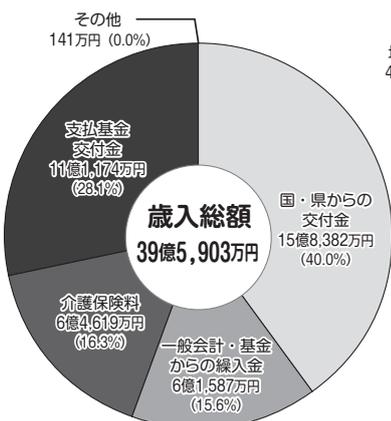
被保険者一人当たりには換算すると、歳入の後期高齢者医療保険料は37,633円になります。また一般会計からの繰入金のうち低所得世帯等の保険料軽減分は17,980円（総額1億5,835万円）になります。

保険料は、「均等割額」と被保険者の所得に応じて負担する「所得割額」の合計で、個人単位で計算されます。均等割額と所得割率は広域連合で2年ごとに見直されます。

平成26・27年度 均等割額41,840円、所得割額 所得×7.99%

### 介護保険事業

介護や支援が必要になったときに介護サービスや介護予防サービスを提供し、保険加入者とその家族を支援します。サービス費用のうち、本人負担を除いた費用（保険給付費）は国保連合会を通じて事業者へ支払われています。



被保険者一人当たりには換算すると、歳入の介護保険料は45,143円になります。

歳出の96%を占める介護給付費の主な使い道として、訪問介護や通所介護等在宅でのサービス利用は15億9,129万円、地域密着型施設での介護サービス3億939万円、特別養護老人ホーム等の利用14億5,170万円、低所得者の介護サービス費の負担軽減1億6,469万円となります。

このほか、住宅改修費の補助1,724万円、福祉用具購入費の補助534万円、高額となった介護サービス費を戻す費用は5,554万円となります。

# 平成 26 年度

# 予 算

# 全会計一覽

会 計		平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減率 (%)	予算の内容
一 般 会 計		273億6,300万円	278億1,300万円	▲1.6	基礎的な行政サービスに
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	49億9,149万円	50億6,863万円	▲1.5	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4 億7,374万円	4 億9,691万円	▲4.7	高鷲・和良歯科・和良診療所の 運営に
	簡易水道事業特別会計	20億2,801万円	14億8,915万円	36.2	簡易水道の供給や工事に
	下水道事業特別会計	22億5,206万円	24億1,263万円	▲6.7	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	39億5,903万円	38億2,536万円	3.5	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7 億 546万円	7 億2,259万円	▲2.4	郡上偕楽園特別養護施設の運 営と白鳥病院などで行う介護 サービスの運営に
	ケーブルテレビ事業 特別会計	1 億2,970万円	2 億5,055万円	▲48.2	郡上ケーブルテレビの施設整 備に(公債費元利償還金の減)
	駐車場事業特別会計	404万円	387万円	4.4	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	551万円	1,802万円	▲69.4	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付 特別会計	2,316万円	5,136万円	▲54.9	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金 特別会計	1,192万円	1,192万円	0.0	長良川鉄道の基金利息
	後期高齢者医療特別会計	5 億4,727万円	5 億4,467万円	0.5	高齢者の医療のために
	大和財産区特別会計	1,327万円	1,615万円	▲17.8	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	1,520万円	444万円	242.3	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,311万円	1,425万円	▲8.0	財産区有林の育成に
	北濃財産区特別会計	0万円	668万円	皆減	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	4,073万円	3,281万円	24.1	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	2,759万円	2,711万円	1.8	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	390万円	666万円	▲41.4	財産区有林の育成に
	明宝財産区特別会計	3,822万円	2,284万円	67.3	財産区有林の育成に
和良財産区特別会計	2,392万円	2,538万円	▲5.8	財産区有林の育成に	
特別会計 計		153億 733万円	150億5,198万円	1.7	
企 業 会 計	水道事業会計 (収益)	3 億3,076万円	2 億5,380万円	30.3	上水道の供給や上水道工事に
	(資本)	1 億3,692万円	1 億1,822万円	15.8	
	病院事業等会計 (収益)	44億8,760万円	40億8,729万円	9.8	市民病院、白鳥病院の運営に
	(資本)	6 億4,878万円	7 億3,115万円	▲11.3	
企業会計 計		56億 406万円	51億9,046万円	8.0	
総 額		482億7,439万円	480億5,544万円	0.5	

# 平成26年度 主な事業

## 1. 産業・雇用（地域資源を活かして産業を育てるまち）

### （イ）自然と共生した農・林・畜産・水産業を育てます

新規就農総合支援事業……………(900万円)  
 地場農産物取扱奨励事業……………(134万円)  
 農業6次産業化ネットワーク支援事業  
 ……………(942万円)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金  
 ……………(2,908万円)

二ホンヅカ捕獲事業……………(950万円)  
 獣肉利活用促進事業……………(80万円)  
 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業  
 ……………(2,472万円)

郡上市産材住宅建設等支援事業……………(1,900万円)  
 原木安定供給体制整備事業……………(30万円)  
 森林・林業人材育成事業……………(148万円)

### （ロ）人・もの・情報の集まる商工業を育てます

工場等設置奨励金交付事業……………(595万円)  
 雇用奨励金交付事業……………(1,332万円)  
 企業誘致促進事業……………(397万円)  
 中心市街地商店街活性化事業……………(140万円)  
 食の王国づくり事業……………(842万円)  
 新商品開発支援事業……………(346万円)

### （ハ）地産地消を推進します

学校給食地産地消推進事業……………(80万円)  
 森林資源活用事業……………(500万円)  
 郡上のやま主安全な自力間伐育成支援事業  
 ……………(103万円)  
 林業構造改善事業……………(1億4,194万円)  
 里山林資源の有効活用事業……………(55万円)  
 未利用材の搬出促進事業……………(75万円)

### （ニ）地域産業の核となる観光・交流産業を育てます

観光協会活動事業……………(5,400万円)  
 外国人観光客誘致事業……………(72万円)  
 イベント開催事業……………(2,899万円)  
 水のまちづくり推進事業……………(100万円)

### （ホ）雇用の場・機会を創出します

商工会活動事業……………(3,874万円)  
 構造改善支援事業……………(3,207万円)  
 ものづくり協力隊派遣事業……………(437万円)

## 2. 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑をまもり、暮らしの基盤を整う共生のまち）

### （イ）自然環境を守り、快適な住環境の実現をめざします

小規模森林整備事業……………(214万円)  
 水源林保全のための道路ネットワーク化事業  
 ……………(500万円)  
 都市計画事業……………(1,685万円)  
 木造住宅耐震補強工事補助事業……………(314万円)

公営住宅等ストック総合改善事業……………(1,576万円)  
 建築物耐震化事業……………(940万円)

### （ロ）廃棄物対策を推進し、循環型社会を実現します

一般廃棄物収集費……………(1億9,566万円)  
 北部クリーンセンター大規模修繕事業  
 ……………(2,324万円)  
 郡上クリーンセンター大規模修繕事業  
 ……………(1億2,680万円)

小水力発電活用支援事業……………(6,375万円)  
 県営地域用水環境整備事業……………(2,775万円)  
 住宅用太陽光発電システム設置補助事業  
 ……………(360万円)

小水力発電研究事業……………(549万円)

### （ハ）暮らしの中の安全・安心を守ります

生活安全対策事業……………(752万円)  
 消防団活動費……………(3,713万円)  
 消防施設整備事業……………(9,556万円)  
 消防車両整備事業……………(5,896万円)  
 災害対策事業費……………(1,552万円)  
 地区集会所耐震補強事業補助金……………(1,200万円)

### （ニ）利便性と安全・安心の基盤整備を進めます

沿道林修景整備事業……………(1,000万円)  
 合併特例道路整備事業(大和:野口12号線他1、白鳥:  
 黒町屋・巾ノ上線他1、高鷲:うぐいす1号線他  
 1、美並:相戸本線他4)……………(1億8,600万円)  
 過疎対策道路整備事業(明宝:岩田・荒田線他1、  
 和良:島方宇山・田中線他5)……………(1億5,800万円)  
 辺地対策道路整備事業(大和:繁久線他2、白鳥:  
 那留ヶ野線他1、高鷲:切立線他1、美並:尾花  
 前線)……………(1億8,750万円)  
 社会資本整備総合交付金事業(八幡:生屋区内1号  
 線他6、大和:剣万場線他4、白鳥:中津屋・那  
 留線他3、高鷲:長野線他4、美並:深戸梅原線  
 他1、明宝:畑佐中央線他3、和良:小坂中央線  
 ……………(6億750万円)  
 道路ストック総点検事業……………(4,604万円)  
 公共急傾斜地崩壊対策事業(八幡:中柳地区他1、  
 大和:郡上特別支援学校他1、白鳥:歩岐島、美  
 並:八坂地区)……………(1,790万円)  
 河川自然災害防止事業(高鷲:ひるがの谷、美並:  
 上苅安谷他1)……………(7,000万円)

### （ホ）公共交通網を整えます

バス運行経費……………(5,835万円)  
 地方交通対策経費……………(7,554万円)  
 地域公共交通確保維持改善事業……………(1,027万円)  
 長良川鉄道支援対策事業……………(1,542万円)  
 長良川鉄道近代化整備事業……………(4,112万円)  
 鉄道運転士養成事業……………(1,053万円)

### （ヘ）情報基盤を整備・活用し、暮らしの可能性を広げます

行政ネットワーク機器更新事業……………(684万円)  
 防災行政無線整備事業……………(134万円)  
 総合行政情報システム導入事業……………(4,279万円)

## 3. 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）

### （イ）安心して子どもを産み、育てることのできるよう支援を充実します

乳幼児医療費助成事業……………(6,429万円)  
 小中学生医療費助成事業(市)……………(7,840万円)  
 高校生等医療費助成事業(市)……………(989万円)  
 がんばれ子育て応援事業……………(1,030万円)  
 放課後児童健全育成事業……………(1,151万円)  
 子育て世帯臨時特例給付金事業……………(5,100万円)  
 妊婦健診……………(3,470万円)  
 新生児聴覚検査支援事業……………(96万円)  
 特定不妊治療費助成事業……………(200万円)

### （ロ）心身とも健やかな暮らしの実現をめざします

予防接種事業……………(8,478万円)  
 基本検診……………(951万円)  
 がん検診……………(7,519万円)  
 自殺予防対策事業……………(197万円)

### （ハ）自立を支援できる総合福祉をめざします

臨時福祉給付金事業……………(1億1,121万円)  
 重度心身障害者医療費助成事業……………(2億6,027万円)  
 障害者自立支援給付事業……………(7億8,653万円)  
 シニアクラブ助成事業……………(838万円)  
 寝たきり高齢者等介護者慰労事業……………(1,224万円)  
 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業  
 ……………(140万円)  
 介護ヘルパー養成事業……………(45万円)  
 生活保護扶助経費……………(2億2,883万円)

## 4. 教育・文化・人づくり（香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち）

### （イ）「確かな学力」と「豊かな心」を育てる教育活動と教育環境を充実します

夢づくり教育事業……………(292万円)  
 地域の未来をつなぐITC活用推進事業……………(330万円)  
 郡上学 小学生体験活動推進事業……………(62万円)  
 郡上学 中学生体験活動推進事業……………(300万円)  
 小学校耐震補強事業(白鳥小、和良小など)  
 ……………(8億768万円)  
 中学校校舎等整備事業(大和中など)  
 ……………(3億9,866万円)

### （ロ）市民が地域文化に触れる機会を広げます

公民館活動経費……………(4,965万円)  
 文化振興事業……………(871万円)  
 郡上市史編纂事業……………(477万円)  
 文化財保護事業……………(980万円)  
 伝建制度推進事業……………(665万円)  
 伝建修理・修景事業……………(5,327万円)

### （ハ）スポーツを通じて交流の機会を広げます

スポーツ大会開催事業……………(163万円)  
 少年スポーツ推進事業……………(1,386万円)  
 体育協会支援事業……………(795万円)  
 スポーツ強化種目育成事業……………(30万円)

### （ニ）生涯学習の充実を図り、地域を担う人材育成の機会を広げます

学校図書館整備充実事業……………(713万円)  
 図書館施設整備事業……………(4,163万円)  
 図書等整備事業……………(1,304万円)  
 青少年育成活動推進事業……………(560万円)

## 5. 自治・まちづくり（市民と行政の協働により自律するまち）

### （イ）市民と行政の協働によるまちづくりの仕組みを整えます

地域振興事業(地域協議会関係分)……………(380万円)  
 郡上市市民協働センター事業……………(600万円)  
 魅力ある地域づくり推進事業……………(585万円)  
 地域おこし協力隊派遣事業……………(700万円)  
 過疎地域自立促進事業……………(1,190万円)

### （ロ）すべての市民が尊重される地域社会をめざします

ふれあい交流事業……………(268万円)  
 婚活イベント企画運営事業……………(60万円)

### （ハ）交流・連携によるまちづくりを推進します

大都市ネットワーク構築事業……………(211万円)  
 交流・移住推進事業……………(669万円)

### （ニ）市民にとって身近な市役所をめざします

合併・市制施行10周年記念事業……………(597万円)  
 振興事務所窓口業務実施事業……………(378万円)

### （ホ）市民に分かりやすい開かれた市政を進めます

ホームページ管理経費……………(57万円)  
 郡上若者カフェ開催事業……………(21万円)

### （ヘ）成果を重視する効率的な行財政運営を進めます

庁舎等整備事業……………(3億3,842万円)  
 総合計画策定事業……………(302万円)  
 斎場整備事業……………(300万円)

## 6. 地域振興（個性あふれる地域づくりを推進するまち）

地域振興推進事業……………(1,960万円)

## 7. その他の経費

一般職・特別職給(定員適正化計画の着実な取り組みにより11人の職員数削減を行うことなどにより、削減額は一般会計で1億7,378万円の減となりました)  
 ……………(40億6,950万円)  
 議員報酬……………(1億2,975万円)  
 臨時職員共済費他……………(9,416万円)  
 事務経費……………(8億3,507万円)  
 施設管理運営費……………(22億5,921万円)  
 特別会計繰出金……………(34億9,666万円)  
 公債費(平成26年度には、公債費負担適正化計画に基づく地方債の繰上償還3億360万円を行うため、定期償還分52億8,205万円との合計は55億8,565万円となり、対前年度比で766万円の増となりました。平成26年度末の市債残高見込みは391億3,423万円となり、臨時財政対策債の残高が2億9,965万円増額となる中、その他の通常債は24億4,831万円減少し、全体では21億4,866万円の減額見込みです)  
 ……………(55億8,565万円)  
 その他(学校給食賄材料費・災害復旧費など)  
 ……………(11億9,160万円)

# 全会計における市債・公債費・市債残高の推移

(収入)

(支出)

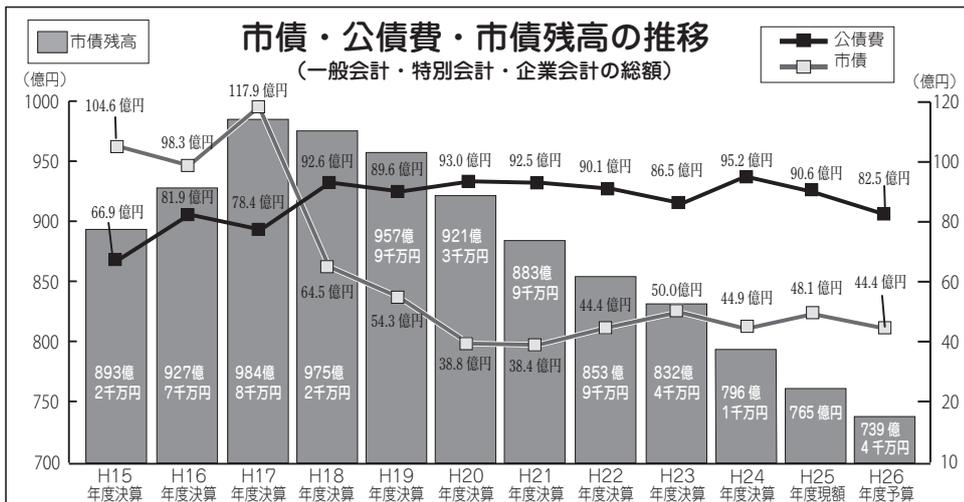
(ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成26年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の104億6千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以下の44億4千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も新たに借り入れるお金を減らしていく取り組みを継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したためです）

▼公債費（返済金）の推移…平成20年度の93億円をピークに、今年度の当初予算では82億5千万円となっています。なお、平成24年度は約10億円の繰上償還を行ったため、公債費が増加しています。平成26年度にも約3億円の繰上償還を実施することにより、徐々に減額となる見込みです。

▼市債残高（借金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込みは739億4千万円となり、9年でピーク時の24.9%を減額しました。今後も借金残高を減らす努力を継続します。



## 一般会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
市債	70.8	68.7	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0	32.9	29.0
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6	62.9	55.9
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	56.8	50.5
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5	6.1	5.4
市債残高	507.6	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8	412.8	391.3

## 特別会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.8	5.7	6.9	9.8	12.5	14.2
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4	20.2
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	18.2	14.7
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	3.2	5.3
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.8	292.9	283.3	275.9	270.2	269.7

## 企業会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
市債	8.6	11.1	44.6	3.9	0.5	0.4	0.2	0.0	0.8	1.1	2.8	1.1
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.3	6.6
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.9	4.2	4.9
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	1.9	2.1	1.7
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.2	97.5	95.2	92.6	89.2	86.2	83.4	82.1	78.3

## 合計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
市債	104.6	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9	48.1	44.4
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2	90.6	82.5
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.1	79.2	70.1
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1	11.4	12.4
市債残高	893.2	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1	765.0	739.4

※市債、公債費、市債残高の平成24年度以前は決算の数値です。

※数値は四捨五入により、合計額と合わない場合があります。

※平成25年度、26年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

予算現額 当初予算